

アマモすくすくプロジェクト！

～種取り編～

深江ブループロジェクト活動組織は、令和6年6月6日(木)に小林小学校、大野木場小学校、深江小学校の5年生を対象にアマモの種取りを実施しました。アマモについて学習会で学んだ後、深江町漁協近くの海岸にあるアマモ場へ行きました。

まず、各班に分かれてアマモの種を探します。最初は、なかなか見つけれず苦戦している児童が多くいました。そこで、活動組織のみなさんにコツを教わり、少しずつ見つけれられるようになりました。種を見つけるコツは、枯れた(茶色)アマモの根元を見ることです。そこには、数個の種がぷっくりと入っています。

次に、海洋生物観察のため網を使って魚や貝を獲りました。大物を捕まえようと、真剣に海の中を覗いていました。岩場近くには、タコ、ウニ、サザエ、カニ、エビがいました。おおはしゃぎで、夢中になっている児童がたくさんいました。

最後に、漁業体験を行いました。児童全員で、刺し網漁を体験し、網にかかった魚を見て興奮していました。素手で触ると危険なため、不用意に近寄らないよう注意していました。中には、小さなカニに指を挟まれ痛い思いをした児童もいました。

今回取った種は、育てて移植する予定です。





(アマモの種)



(袋いっぱいに見つけた種)



(魚や貝を探している様子)



(イカの卵)



(ウニ)



(漁業体験で網をひいている様子)



(網にかかった魚)